



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 株式会社 インフォマート

上場取引所 東

コード番号 2492 URL <http://www.infomart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 村上 勝照

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 藤田 尚武

TEL 03-5777-1710

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,176	15.1	831	55.8	836	58.8	498	119.7
24年12月期第3四半期	2,760	13.4	533	21.8	526	21.2	226	△7.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 468百万円 (251.9%) 24年12月期第3四半期 133百万円 (△21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	34.49	33.19
24年12月期第3四半期	15.87	15.30

当社は、平成24年10月31日の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っており、また、平成25年4月30日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	4,862		3,099			63.6
24年12月期	4,657		2,889			61.5

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,094百万円 24年12月期 2,866百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	2,925.00	—	2,925.00	5,850.00
25年12月期	—	21.12	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.57	31.69

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年10月31日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。

また、平成25年4月30日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、平成25年12月期(予想)の配当予想については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,388	16.0	997	22.3	988	21.2	594	19.8	40.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月30日開催の取締役会決議により、平成25年7月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

これに伴い、1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	14,552,000 株	24年12月期	14,552,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	98,460 株	24年12月期	98,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	14,453,888 株	24年12月期3Q	14,298,000 株

当社は、平成24年10月31日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っており、また、平成25年4月30日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年7月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～9月30日）における我が国の経済は、安倍政権の経済政策により、円安・株高の進行、輸出の増加、個人消費の改善、復興需要の継続等、着実な回復軌道をたどる動きとなりました。

当社グループが主に事業を展開する国内のBtoB（企業間電子商取引）市場は、平成24年のインターネットによる企業間電子商取引が前年比4.1%増の178兆円、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率が前年比1.4ポイント増の17.5%と、着実に拡大が進んでおります。（経済産業省「平成24年度我が国情報経済社会における基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」）

このような環境下において、当社グループは当第3四半期連結累計期間におきまして、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の推進を行いました。また、今後の成長へ向けた「BtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」をリリースいたしました。

その結果、「ASP受発注システム」等の順調な利用拡大により、当第3四半期連結会計期間末（平成25年9月末）の「FOODS Info Mart」利用企業数（海外事業を除く）は、前連結会計年度末比1,870社増の33,349社（売り手企業：同1,734社増の26,509社、買い手企業：同136社増の6,840社）となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」を始め、各システムの国内での利用拡大によりシステム使用料が増加し、3,176,408千円と前年同期比415,894千円（15.1%）の増加となりました。

利益面は、売上高の増加が、「次世代プラットフォーム」のリリース及び既存プラットフォームの償却期間の短縮（5年定額償却から2013年度末までに償却を完了する方法に変更）によるソフトウェア償却費の増加、人件費等の増加を吸収し、営業利益は831,404千円と前年同期比297,755千円（55.8%）の増加、経常利益は836,905千円と前年同期比309,940千円（58.8%）の増加、四半期純利益は498,474千円と前年同期比271,534千円（119.7%）の増加となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### i. A S P受発注事業

「ASP受発注システム」は、外食チェーン、給食会社、ホテル等の買い手新規稼動が順調に進み、買い手店舗数、売り手企業数が増加いたしました。新規営業では、直営業に加え、アライアンスパートナー（売り手企業、システム会社等）からの紹介案件も継続的に発生いたしました。また、8月に西日本エリアにおける新規営業のスピード化を目的に西日本営業所を大阪に開設いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の買い手企業の稼動社数は1,221社（前連結会計年度末比139社増）（注）、買い手企業の利用店舗数は26,032店舗（同2,979店舗増）、売り手企業数は23,312社（同1,470社増）（注）、当第3四半期連結累計期間のASP受発注取引高は5,967億円（前年同期比16.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「A S P受発注事業」の売上高は1,929,309千円と前年同期比208,532千円（12.1%）の増加、営業利益は935,624千円と前年同期比73,302千円（8.5%）の増加となりました。

#### ii. A S P規格書事業

「ASP規格書システム」は、食の安全・安心をサポートする「商品規格書」データベースシステムとして、メーカー、卸会社、買い手企業における自社システムでの利用及びそれぞれの取引先との利用拡大を推進いたしました。また、新システム「ASPメニュー管理システム」の提供を開始いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の買い手機能は207社（前連結会計年度末比48社増）（注）、卸機能は258社（同36社増）（注）、メーカー機能は4,897社（同451社増）（注）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「A S P規格書事業」の売上高は424,265千円と前年同期比92,528千円（27.9%）の増加、営業利益は31,787千円と前年同期比3,851千円（13.8%）の増加となりました。

## iii. A S P 商談事業

「ASP商談システム」の売り手企業は、セミナーによる新規数の増加により純増が継続いたしました。また、買い手企業は、初年度無料キャンペーンが昨年末で終了したことにより新規数が減少いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の売り手企業数は2,179社（前連結会計年度末比155社増）、買い手企業数は6,657社（同117社増）（注）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「A S P 商談事業」の売上高は530,398千円と前年同期比41,170千円(8.4%)の増加、営業利益は55,729千円と前年同期比55,147千円（9473.5%）の増加となりました。

## iv. A S P 受注・営業事業

「ASP受注・営業システム」は、卸会社とその取引先店舗（主に個店等）の新規稼働及び利用拡大を推進いたしました。また、美容業界向け「BEAUTY Info Mart（ビューティインフォマート）」、医療業界向け「MEDICAL Info Mart（メディカルインフォマート）」の実績作りを行いました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の受注卸社数は169社（前連結会計年度末比19社増）、発注店舗数は21,438店舗（同3,492店舗増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「A S P 受注・営業事業」の売上高は241,983千円と前年同期比50,159千円(26.1%)の増加、利益面は、ソフトウェア償却費、人件費等の経費により、営業損失98,223千円（前年同期は営業損失215,017千円）となりました。

## v. クラウドサービス事業

「Foods Info Rise 販促支援システム」のメーカー利用の増加及び卸会社向け有料サービスの提供、メニュー（レシピ）開発サービスを推進いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の食品メーカー利用社数は133社（前連結会計年度末比33社増）、卸会社利用社数は164社（同6社増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「クラウドサービス事業」の売上高は52,680千円と前年同期比26,393千円(100.4%)の増加、利益面は、システム関連費用及び人件費等の経費により営業損失38,472千円（前年同期は営業損失67,154千円）となりました。

## vi. 海外事業

中国のグループ会社を中心に北京・上海を拠点として「SaaSシステム」の新規営業、稼働を推進いたしました。また、システム受託開発を行いました。当第3四半期連結会計期間末の中国での「SaaSシステム」の利用企業数は、新規稼働及び一定の発注店舗数、システム取引高の実績はあるものの、解約が発生したことから、13社（前連結会計年度末比7社減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の「海外事業」の売上高は、システム受託開発売上により29,345千円と前年同期比20,938千円(249.1%)の増加、利益面は、データセンター費及び人件費等の経費により営業損失46,677千円（前年同期は営業損失74,215千円）となりました。

（注）セグメント別の利用企業数は、システムを利用する利用企業数の全体数を表示しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末（平成25年9月末）の資産合計は、4,862,166千円（前連結会計年度末比204,824千円増）となりました。

流動資産は、1,579,565千円（前連結会計年度末比15,329千円増）となりました。主な増加要因は、繰延税金資産が44,443千円増加、売掛金が35,523千円増加したことなどによるものであり、主な減少要因は、現金及び預金が66,562千円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、3,282,601千円（前連結会計年度末比189,494千円増）となりました。主な増加要因は、ソフトウェアが1,662,745千円増加、繰延税金資産が86,355千円増加したことなどによるものであり、主な減少要因は、ソフトウェア仮勘定が1,562,478千円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、1,679,336千円（前連結会計年度末比211,251千円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金が150,000千円増加、賞与引当金が73,757千円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、83,518千円（前連結会計年度末比215,862千円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金が216,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,762,855千円となりました。

純資産は、3,099,311千円（前連結会計年度末比209,435千円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金が240,145千円増加（配当258,328千円を実施した一方で、四半期純利益498,474千円を計上）したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）の残高は、前連結会計年度末に比べ66,562千円減少し、516,999千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1,145,883千円（前年同四半期は859,742千円の増加）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益836,905千円、減価償却費754,894千円であり、主な支出は、法人税等の支払額467,438千円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、905,845千円（前年同四半期は955,250千円の減少）となりました。主な支出は、「FOODS Info Mart」等システム開発に伴う無形固定資産の取得による支出888,324千円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、308,475千円（前年同四半期は232,261千円の減少）となりました。主な支出は、長期借入金の返済による支出216,000千円、配当金の支払額241,537千円によるものであり、主な収入は、短期借入金の純増減額150,000千円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度（平成25年1月1日～12月31日）におきまして、引き続き、「ASP受発注システム」、「ASP規格書システム」、「ASP商談システム」、「ASP受注・営業システム」の利用拡大によるフード業界BtoBの強化、美容業界向け「BEAUTY Info Mart」・医療業界向け「MEDICAL Info Mart」の利用拡大による他業界BtoBの展開を推進し、戦略子会社による「クラウドサービス事業」、「海外事業」の収益化を図ってまいります。また、今後の成長へ向けた「世界のあらゆる言語で、あらゆる業界で展開できるBtoB&クラウドプラットフォーム（次世代プラットフォーム）」の構築及び始動に取り組んでまいります。

通期につきましては、さらに各システムの利用拡大によりシステム使用料が増加することから、売上高は4,388百万円（前連結会計年度比16.0%増）となる見通しです。

利益面につきましては、売上高の増加が上記の費用の増加を吸収し、営業利益は997百万円（同22.3%増）、経常利益は988百万円（同21.2%増）、当期純利益は594百万円（同19.8%増）となる見通しです。

上記連結業績予想は、前回公表（平成25年2月14日発表）から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	583,561	516,999
売掛金	886,447	921,970
貯蔵品	2,088	2,390
繰延税金資産	70,315	114,758
その他	30,995	38,104
貸倒引当金	△9,171	△14,658
流動資産合計	1,564,235	1,579,565
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,158	62,022
減価償却累計額	△32,964	△36,823
建物(純額)	22,193	25,198
工具、器具及び備品	128,461	135,045
減価償却累計額	△100,077	△111,403
工具、器具及び備品(純額)	28,384	23,642
有形固定資産合計	50,578	48,841
無形固定資産		
ソフトウェア	1,186,259	2,849,004
ソフトウェア仮勘定	1,639,825	77,346
その他	14,386	15,601
無形固定資産合計	2,840,471	2,941,952
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
繰延税金資産	108,158	194,513
その他	63,899	67,294
投資その他の資産合計	202,057	291,808
固定資産合計	3,093,107	3,282,601
資産合計	4,657,342	4,862,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	148,226	112,729
短期借入金	400,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	288,000
未払金	129,674	80,670
未払法人税等	249,975	267,068
賞与引当金	43,957	117,715
その他	208,251	263,152
流動負債合計	1,468,084	1,679,336
固定負債		
長期借入金	288,000	72,000
資産除去債務	11,381	11,518
固定負債合計	299,381	83,518
負債合計	1,767,466	1,762,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,200	1,001,200
資本剰余金	437,975	437,975
利益剰余金	1,494,160	1,734,306
自己株式	△34,616	△35,554
株主資本合計	2,898,719	3,137,927
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△32,548	△43,368
その他の包括利益累計額合計	△32,548	△43,368
少数株主持分	23,705	4,752
純資産合計	2,889,876	3,099,311
負債純資産合計	4,657,342	4,862,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,760,513	3,176,408
売上原価	977,933	1,037,411
売上総利益	1,782,579	2,138,996
販売費及び一般管理費	1,248,929	1,307,591
営業利益	533,649	831,404
営業外収益		
受取利息	95	46
為替差益	—	11,783
未払配当金除斥益	—	463
その他	4	8
営業外収益合計	100	12,301
営業外費用		
支払利息	6,780	6,105
為替差損	4	—
その他	—	695
営業外費用合計	6,785	6,801
経常利益	526,964	836,905
特別損失		
固定資産除却損	44	—
減損損失	112,071	—
特別損失合計	112,116	—
税金等調整前四半期純利益	414,848	836,905
法人税、住民税及び事業税	398,211	488,182
法人税等調整額	△115,017	△130,798
法人税等合計	283,193	357,383
少数株主損益調整前四半期純利益	131,654	479,521
少数株主損失(△)	△95,285	△18,953
四半期純利益	226,940	498,474

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	131,654	479,521
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,545	△10,819
その他の包括利益合計	1,545	△10,819
四半期包括利益	133,199	468,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,970	487,654
少数株主に係る四半期包括利益	△94,770	△18,953

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	414,848	836,905
減価償却費	696,926	754,894
のれん償却額	15,020	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,851	5,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	70,103	73,757
受取利息及び受取配当金	△95	△46
支払利息	6,780	6,105
為替差損益(△は益)	4	△11,783
固定資産除却損	44	—
減損損失	112,071	—
売上債権の増減額(△は増加)	△14,831	△35,433
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,294	△35,497
その他	5,927	25,808
小計	1,249,654	1,620,197
利息及び配当金の受取額	92	44
利息の支払額	△7,544	△6,918
法人税等の支払額	△382,459	△467,438
営業活動によるキャッシュ・フロー	859,742	1,145,883
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,891	△14,167
無形固定資産の取得による支出	△955,556	△888,324
その他	5,197	△3,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△955,250	△905,845
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	150,000
長期借入金の返済による支出	—	△216,000
配当金の支払額	△232,261	△241,537
その他	—	△937
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,261	△308,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	543	1,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△327,225	△66,562
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,667	583,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	692,442	516,999

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	1,720,763	331,736	489,227	187,624	25,837	5,323	2,760,513	—	2,760,513
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12	—	—	4,200	450	3,083	7,745	△7,745	—
計	1,720,776	331,736	489,227	191,824	26,287	8,406	2,768,259	△7,745	2,760,513
セグメント利益 又は損失(△)	862,321	27,936	582	△215,017	△67,154	△74,215	534,452	△802	533,649

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の△802千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、事業用資産の収益性が低下したこと等に伴い、減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては112,071千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ASP 受発注事業	ASP 規格書事業	ASP 商談事業	ASP 受注・営業 事業	クラウド サービス 事業	海外事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	1,929,298	424,265	530,398	240,183	50,955	1,306	3,176,408	—	3,176,408
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	10	—	—	1,800	1,725	28,039	31,574	△31,574	—
計	1,929,309	424,265	530,398	241,983	52,680	29,345	3,207,982	△31,574	3,176,408
セグメント利益 又は損失(△)	935,624	31,787	55,729	△98,223	△38,472	△46,677	839,767	△8,363	831,404

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の△8,363千円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

## 株式分割及び定款の一部変更

平成25年10月31日付取締役会決議により、株式分割及び定款の一部変更について決定いたしました。

## (1) 株式分割及び定款の一部変更の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の概要

## ① 分割の方法

平成25年12月31日（火曜日）を基準日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質上の基準日は同年12月30日（月曜日））として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

## ② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,870,000株
今回の分割により増加する株式数	14,870,000株
株式分割後の発行済株式総数	29,740,000株
株式分割後の発行可能株式総数	90,176,000株

（注）上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により増加する可能性があります。

## ③ 分割の日程

基準日の公告日	平成25年12月16日
基準日	平成25年12月31日
効力発生日	平成26年1月1日

## (3) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下の通りとなります。

前第3四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）		当第3四半期連結累計期間 （自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）	
1株当たり四半期純利益金額	7円94銭	1株当たり四半期純利益金額	17円24銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7円65銭	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円59銭